

11月6日 報知新聞社杯争奪ヴィーナスリーグ 田中友萌さん(東日本選抜)が優勝

昭和中学校2年の田中友萌さん(森下上)が所属するボーイズ東日本女子硬式野球チームが報知新聞社杯争奪ヴィーナスリーグで見事優勝しました。

また、田中さんは日本生命カップ第21回ボーイズリーグ鶴岡一人記念大会の東日本女子選抜選手にも選ばれました。残念ながら、コロナ禍により同大会は中止となっています。昭和中野球部に所属する田中さんは「部活動だけでなく、女子チームへの参加も楽しく、自分を成長させてくれる場所です」と話していました。



全国大会の選抜にも選ばれた田中友萌さん

10月31日 全麵協そば道段位認定群馬大会 小池瑠里佳さんが「そば打ち」三段に

第17回全麵協そば道段位認定群馬大会 in 老神(沼田市)で、小池瑠里佳さん(松ノ木平第一)が、そば道段位認定の三段の部で優秀賞を受賞しました。これは、そば打ちの技術や知識などを、決められた基準で審査し段位認定するもの。小池さんの21歳の若さでの三段認定は快挙です。現在、調理師として働く小池さんは「高校から本格的に打ち込んできたそば打ちで結果を出せてうれしい。2月に招待されている栃木県での腕自慢大会でも頑張りたい」と話していました。



三段に認定された小池瑠里佳さん

11月19日 千葉・八街市長が視察で来庁 農業振興で意見交換

落花生の産地として全国的に知られる八街市(千葉県)の北村新司市長が来庁し、農業振興について堤村長と意見交換しました。視察は、村と友好交流協定を結ぶ横浜市の梶村充元市会議長が八街市出身である縁から実現したもの。

八街市は、落花生以外にもほうれん草や里芋などの栽培が盛んな農業地帯で、堤村長と北村市長は、農家の受益拡大や後継者対策、農業用水などについて積極的に意見を交わしました。



意見交換した堤村長と北村・八街市長

11月18日 ひまわり大学「風水害24」 ゲームで風水害への備え学ぶ

風水害への備えや行動をゲームで学ぶ、ひまわり大学「風水害24」の講座が村公民館で行われました。

このゲームは、超大型の台風が地域を直撃し通過する24時間前から、プレイヤーである参加者がそれぞれの判断でどう行動するか体験するプログラムです。

参加者らは、ゲームを振り返り「まずは自分の身の安全を確かめながら落ち着いて行動すべきと感じた」や「ハザードマップを手に入れたのに、うまく活用できなかった」などの意見が聞かれました。



災害に至る緊迫した状況が続く「風水害24」

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。

12月14日 認知症サポーター養成講座など 昭和中生が認知症や福祉を学ぶ

昭和中学校 1年生を対象にした、福祉について考える授業が、村地域包括支援センターと村社会福祉協議会により行われました。授業ではまず、認知症サポーター養成講座として、今では身近な脳の病気となった認知症にみられる特有の症状や予防策、わかりやすい寸劇を交え、認知症の人への接し方を学びました。

その後、生徒たちはグループに分かれ討論。車イス利用者が困っている場面を想定し、自分たちに何ができるかを互いに話し合い、考えを共有しました。



今日から認知症サポーター

11月27日 群馬県きのご料理コンクール 金子綺良さんに最優秀賞、全国大会へ

きのご料理のおいしさや独創性を競う、第22回群馬県きのご料理コンクールが11月24日、前橋市で開催され、渋川青翠高校3年の金子綺良さん(常木)の作品「歯応え抜群！まるごと玉ねぎの肉キノコあなかけ」が見事、最優秀賞となる群馬県知事賞を受賞し、3月に行われる全国大会への出場を決めました。

役場を訪れて、堤村長に報告した金子さんは「おいしさはもちろん、食感や色合いにこだわりました。全国大会でもがんばりたい」と抱負を語りました。



最高賞を受賞した金子綺良さん

12月18日 創業塾卒業生の西澤さんが起業 森下に洋菓子店がオープン

西澤^{まなみ}愛美さん(森下)が洋菓子店「Repos(ルポ)」を起業、森下の自宅にオープンしました。西澤さんは、昭和村商工会創業塾の出身。お店では、村産をはじめとした旬のフルーツを使用し、ていねいに手作りした洋菓子を販売しています。

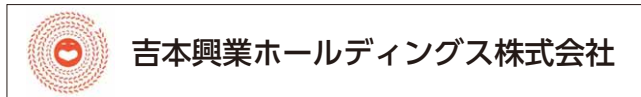
西澤さんは「子どもの頃からの夢をかなえるため、以前、ケーキ屋さんで働いて学んだノウハウと、創業塾で得られた経営の知識を生かしがんばっていきたい」と話していました。



起業した西澤さん(撮影時のみマスクを外しています)

12月15日 村議会全員協議会 吉本興業・大崎会長と意見交換

藤井議長をはじめとする村議会議員と堤村長は、大阪市・東京都新宿区に本部を置き、芸能事務所やテレビ番組制作などを手掛ける吉本興業ホールディングス(株)の大崎洋代表取締役会長とリモート接続により会談しました。会談では、村の現状や課題、昭和村の村づくりについて意見交換したほか、大崎会長からは、地域貢献への想いや意気込みなどをうかがいました。村づくりについても「できることからお手伝いさせていただければ」といったお話をいただきました。



吉本興業ホールディングス株式会社



リモートで意見交換する村議会議員と大崎会長(右)